

星屑

No.334
Jan. '03



Ghost

熊本県民天文台

2003年は、NPOとしての1歩を踏み出す年 熊本県民天文台発展への路を拓こう!

台長 艶島 敬昭

天文台開設20周年の節目にあたる2002年は、「五嶋みどりリサイタル」や「スター・ワイク城南」と名付けられた一連のイベントを中心に、大勢の会員・運営委員と城南町のボランティア達との共同作業で、大いに盛り上がりました。20年間にわたって積み上げてきた、私たちのボランティア活動の力を結実させ、大きな成果を残したと言えます。

一方で、運営委員として長年にわたって活躍してこられた長谷さんを交通事故で失い、大きな悲しみをも体験しました。長谷さんの活躍を永遠に記憶に留めたいという小林寿郎副台長の提案と、発見者（大泉の小林さん）のご協力で、11月下旬、小惑星8301番(1995 BG2)にHaseyaji（長谷勇治）と命名することができ、12月7日、靈前に報告しました。

私たちは、20周年のこの喜びと悲しみを超えて、次の時代への一步を踏み出す決意です。

NPO・ボランティア団体
活動紹介ギャラリー事業参加者募集

キヤマ監修センターでは、NPOやボランティア団体の活動を広く県民の皆さんに知
らせ、事業を実施します。ギャラリー事業とは、NPO・ボラン
ティアが共同作成していただき、くまもと県
の視点で、新しい視点で、発展への路を拓こう!

昨年の総会に始まったNPO法人設立のための準備は、お陰様で順調に進み、11月10日の設立総会、11月14日申請書類の受理を経て、認証と登記を待つ段階に至っています。2003年初頭には、法人登記を経て新しい活動が始まります。

すでに、熊本県の呼びかけに応募して、NPO・ボランティア団体の活動を紹介するギャラリー事業に参加していて、他のNPOなど15団体と連携して数回の会合を重ね、2003年2月22日～25日までのギャラリー展示事業に取り組んでいます。ここでも、昨年のKAGAYAイラスト展示などで獲得した経験が大いに役に立っていて、他の団体へのアドバイスなどに大いに生かされ、熊本県民天文台への期待や信頼が高まっています。

このようにして、他のNPO団体や熊本県など行政機関との交流や意見交換、連携した事業への取り組みが増えるにつれ、いろいろなことが見え始めています。

これまでの県民天文台は、ひたすら「無償の奉仕」による一般公開などを手がけてきました。そのことによって、担い手である私たち自身にある種の満足感が得られたからだと思います。

今、新しく求められているのは、天文台の20年間の活動を支えてくれた地域社会が、現在、私たちに解決を求めている課題が何であり、私たちはどのような解決策を提供できるか、それを明確に示すべきだということです。

日本の子供達の理科離れへの解決策として、宇宙や科学に興味を持つもらう絶好のきっかけとして「天体観望」を提供できること。星空を環境のバロメーターとし、「星空の見えるまちづくり」を推進、市民レベルの環境改善への取り組みを先導できることなど。新しい視点で、発展への路を拓こう!

NPO法人設立に向かう、今後の見通し・・・1月下旬に認証か？

建物の登記と法人の登記

いよいよ具体的な作業に取りかかっていきます。ご協力よろしくお願ひします！

1. 設立申請の受理

前回の記事で、11月14日に設立認証申請が受理されたところまで報告しました。それから1ヶ月が経過したわけですが、現在までに熊本県の担当部局からは何も問題点の指摘などがありませんので、審査と縦覧は順調に進んでいるものと思われます。このまま進むと、2ヶ月間の縦覧の後、早ければ来年1月下旬には「設立の認証」が得られそうです。

2. NPO法人の登記

設立の認証が得られた場合、2週間以内に「NPO法人 熊本県民天文台」を登記しなければなりません。

登記は、必要な書類をそろえて、宇土法務局でおこないます。法人登記によって、熊本県民天文台という組織に、非営利活動法人として「法人格」が与えられ、さまざまな契約や建物の所有などの行為が、法人としての天文台の名前で行えるようになります。

熊本県から発行される設立認証の書類に、各種の添付書類をつけて提出することになると思われます。

先月、法務局に出かけて、法人登記手続きについての簡単な説明を受けてきました。しかし、宇土法務局では、まだNPO法人の設立登記事例が少なく、担当の方もいろいろな手引き書を参照しながらの説明でした。

私たちも、手引き書を参考にしながら、書類の準備を始めなくてはなりません。お正月が過ぎると、ツツという間に「認証」が出るという日程だからです。行政書士に頼んだりする方法もありますが、できるだけ自分たちで書類作成をしたいと思っています。なぜなら、役員の変更など、これから毎年、変更登記が発生する見込みなので、自分たちでできることは自分たちでおこない、費用の発生を極力抑えたいからです。

3. 建物の登記

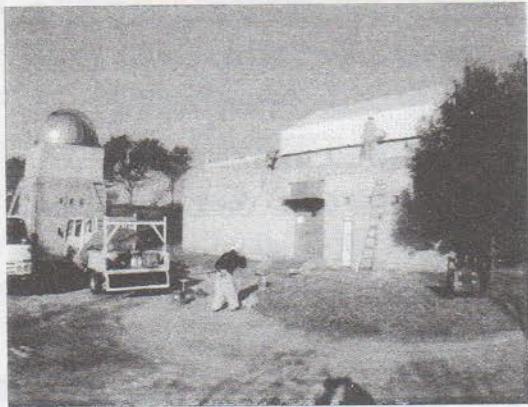
法人の登記が現実の日程に上ってきましたので、建物の登記についても準備を進めなくてはなりません。

これまで、天文台の建物は、「ここに建物があります」という意味の表示登記だけをおこない、所有権については登記していません。建設時に、固定資産税の減免などを受けるには、最低限度「表示登記」が必要ということでしたので、当時の台長副台長4名の連名で、「熊本県民天文台という任意団体の委任による」という決議書を添付して、登記しました。

今回は、一旦、4名の連名で所有権保存登記をし、完了と同時に、「委任の終了」に伴う所有権移転登記をおこなって、晴れてNPO法人 熊本県民天文台の所有ということになる予定です。法人設立後できるだけ速やかに完了できるよう準備を進めます。

移転・新築から10年経って、あちこち傷んでいました！

スライディングルーフの 防錆・塗装工事が無事終了



数年前から錆が目立ってとても気になっていた天文台のスライディングルーフ。「何とかしなくては」と相談するたびに、「ペンキを買ってきて自分たちで塗装しよう」と返事は帰ってくるんだが、では「いつ、誰が、どのように」となると、「暑い時期はダメだ」とか「雨が多いから延期」とか、「いざやるとなると足場が必要」とか……なかなか手が付けられない。

アツという間に10年目の節目も近づいてきた。また、年度末にはNPO法人化も控えているし、手持ち資金のある内に思い切って補修した方が良いかなと、業者さんに相談した。

天文台があなたが持っていないことは充分に伝えてある。できることは自分たちで手伝うから……とお願いしつつ、現状を見てもらって「最低限度の見積もり」を依頼した。そうしたら、防水コーティングがあちこち切れています雨水が浸入、かなり痛みがひどいとの話。費用を値切るどころの騒ぎではなく、放置すれば穴が空く一歩手前の状態だった。

現場で、いろいろ相談する内、業者さんが一言、「この2階観測室は暑いですか?」と聞く。「もちろん、夏は大変暑いですよ!」と答えた。「実は、遮熱塗料といって熱を遮る塗料があるんです。ある工場の塗装に使った残りを自宅倉庫に塗ったら、夏場の室内温度が8度ほども下がったんです。この塗料で良ければ提供しますが如何でしょうか?」とのこと。

色合いを確認してOKを出し、その分、防錆塗料に良いものを使ってもらうことにして、作業にかかるべくもった。



いざ、傷んだコーティングを剥がしてみると、思っていた以上に錆がひどい。「どうしてここまで!?」と声を上げたら、「コーティングの上側が傷んで雨水が入るのに、下側はふさがっているので、内部に水が溜まつたままなんです」という返事。なるほど、遠くからながめているだけではそんな所にまでは気がつかない。

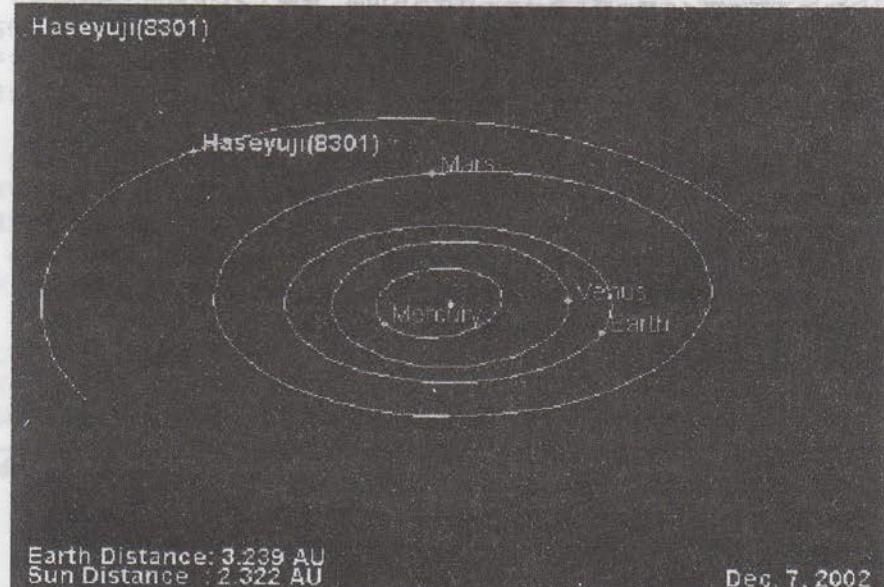
こんな具合にして、10年目の防錆・塗装作業が終了、見違えるように美しくなった。来年の夏は快適な観測室になっているはず。

古代アラビアの遺伝民たちは、エリダヌス星からみなみのうお座にかけて広大な空間をダチョウやダチョウの巣、ダチョウの頭、ダチョウの脚などの星座を作っていました。この星から1902までの星の通なりを“ダチョウの巣”と呼んでいました。

(8301) Haseyaji (長谷勇治)

小惑星「長谷勇治」

(8301) Haseyaji = 1995 BG2



小惑星 8301 番（仮符号 1995 BG2）が Haseyaji（長谷勇治）と命名されました。

(8301) Haseyaji = 1995 BG2

Discovered 1995 Jan. 30 by T. Kobayashi at Oizumi.

Yuji Hase (1954-2002), an instructor of material technology at Kumamoto technical high school, played a leading role in amateur astronomical computing and was an active founding member of Kumamoto Civil Astronomical Observatory.

MPC47163

小林寿郎さん等の発案で、7月に亡くなった長谷勇治さんにちなんで小惑星に「Haseyaji」と命名されました。MPCでの発表を受けて、12月7日長谷さんの仏前にご報告してきました。奥さんにも大変喜んでいただき、やっと肩の荷が下りました。ここに、その経過を報告致します。

時空・新宿から10年経つて、あちこち悩んでいました！

星の停車場(25) エリダヌス座

土山由紀子

年が明けると、そろそろにぎやかな冬の星座が東の空高く昇り、見やすくなっています。けれども宵の早い時間帯はひそやかな秋の星座たちが南中し、それらが西へ傾くと、今度はオリオンの西をゆったり長々と曲がりくねる天の大河、エリダヌス川を形づくる星々が時間をかけて子午線を通り過ぎます。

オリオン座のリゲルの北西に輝く β 星に源を発するエリダヌス川は、まず、くじら座のミラへ向かって西へ流れ、 γ 星で南東のはと座の方向へ向きを変え、小さな星が並ぶ ψ 1/2から再び南西へ向かって流れ、昔の星座の終着点だった θ へ、そしてそこから一気に天の南極近くの α 星アケルナルへ南下します。面積は全天で6番目、長さもうみへび座に匹敵する大星座です。

しかし、エリダヌス座の星々は、地平線下にあって見ることのできない α 星アケルナルを除くと暗い星ばかりで目立ちません。それでも大きな“Z”の字を描くように連なる星列は、誰が見ても蛇行する川の姿を連想させ、昔は“the River”(川)と呼ばれて各地で身近な川の姿として描かれてきました。エジプトではナイル川、バビロニアではユーフラテス川、ローマではパドウス川(ボーカー川)、そしてギリシア神話では世界を取り巻く海の流れに例えられ、これらはエリダヌス座にまつわる様々な逸話に影響を与えています。中でも琥珀の産地として知られるボーカー川は、ギリシア神話のフェアトンの物語を彷彿とさせます。

フェアトンは、太陽神ヘリオスとニンフのクリュメーネの間に生まれた子で、あるときヘリオスに、太陽神の息子である証として、一日だけ4頭立ての太陽のシャリオを御させて欲しいと頼みました。フェアトンの願い事を何でも聞くと約束したヘリオスは困りますが、約束を破るわけにもいかず、空についた轍の跡を外れないよう注意して願いを聞き入れます。宝石を散りばめられた金のシャリオはたいそう美しく、フェアトンは得意げに乗り込みますが、馬たちはすぐさま乗り手がいつも違うことに気付き避け出しました。フェアトンには手綱をコントロールする技術も力もなく、やがてシャリオは道を外れて地球に大火事を起こします。

見かねたゼウスの落雷によって、フェアトンはエリダヌス川に打ち落とされて命を落とし、彼の死を嘆いてエリダヌスの河畔で泣き続けたヘリアデス(ヘリオスの娘たち=フェアトンの姉妹たち)は、ボブラの木になってしまいました。そしてこのときヘリアデスが流した涙は、凝固して琥珀になったというのです。

さて、明るい星が少ないエリダヌス座ですが、固有名を持つ星は意外に多いので順番に見ていくましょう。

α 星、アケルナル。熊本県の住民が一番気になるのはこの星でしょう。

0.5等の明るさを誇り、B型のスペクトルを持つこの青白い星は、赤緯-57度13.4分に位置しています。つまり、北緯32度46分より南へ行かないと地平線上へ昇って来ない星なのです。星図は熊本市の1月3日19時00分で描いてみましたが、北緯32度48分の熊本市では、見事に地平線すれすれで見えません。天文台のある城南町は北緯32度42分、県南部の八代市で北緯32度30分、熊本県はアケルナルを見る事ができる北限にあるのです。

星名のアケルナルは、アラビア語で“川の果て”。エリダヌス座の南の終わりに輝く星であるのが由来ですが、昔はエリダヌス座の最果ては θ 星(3.2等)と考えられており、この名も θ 星のものでした。星座が南天へ拡大されたため“アケルナル”は α 星の名となり、13世紀の『アルフォンソ星表』以降、同じ語原の“アカマル”が θ 星の固有名となっています。

一方、エリダヌス川の北の終着点である β 星(2.8等)は、クルサ。語原はアラビア語の“巨人(オリオン)の足台”で、 β Eri・ λ Eri・ ψ Eri・ τ Oriの4星で作ったオリオンの左足を支える台座がこの星の固有名になったものです。

星名を冠するとこの星ではなく、彼

星が終了、見違えるよう健美人種が隣に来る
年の夏は快適な健脚室になっているはず。

古代アラビアの遊牧民たちは、エリダヌス座から みなみのうお座にかけた広大な空間にダチョウやダチョウの巣、ダチョウの卵、ダチョウの雛などの星座を作つてあり、この星から。1°2までの星の連なりを“ダチョウの巣”と呼んでいました。

γ星（3.0等）ザウラクはアラビア語で“船の中の明るい星”という意味ですが、先月のほうあう座の項でお話しましたように、ほうあう座の星々を結んだ古代アラビアの星座“船”が由来。ほうあう座の名前だったのが、誤ってこの星の固有名として定着したものです。

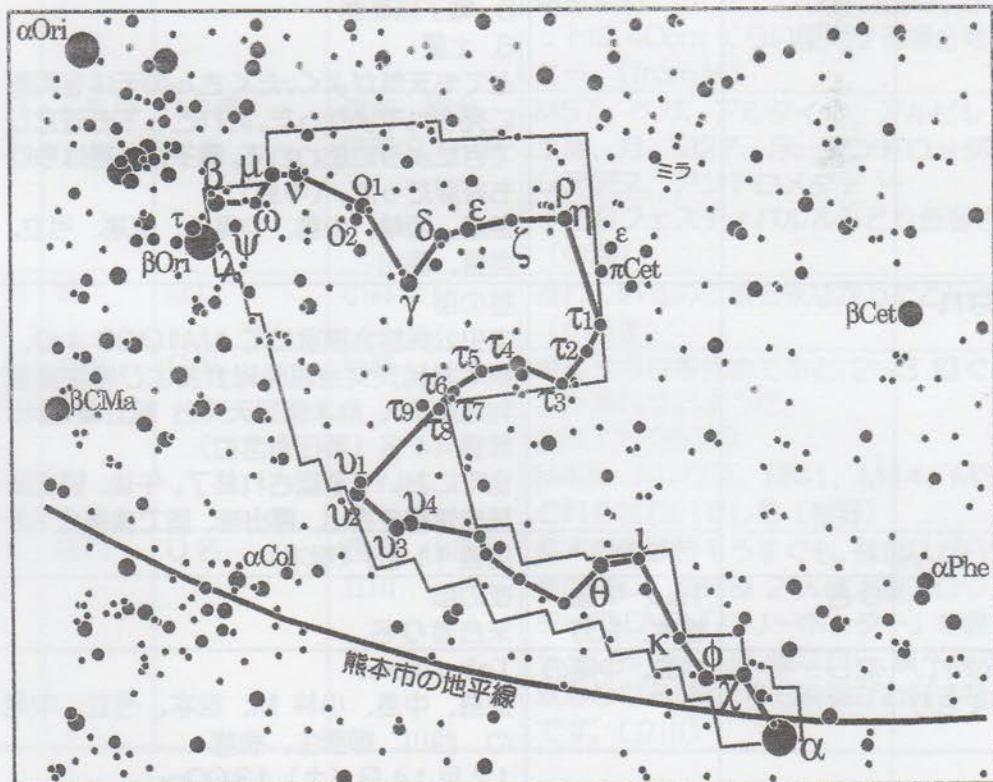
δ星（3.5等）については、いくつかの参考書でラナという固有名が紹介されていますが、詳細は不明です。

η星（3.9等）は、アラビア語で“ダチョウの巣”という意味のアザー。前記のダチョウに関する古代アラビア星座の一つで、エリダヌス座 δ , ρ , α , β , γ やくじら座 ϵ , π などと共に、このあたりもダチョウの巣でした。アラビアの星座については、またいつか機会を改めて詳しくお話することにしましょう。

β星の西にあるο1（4.0等）、ο2（4.4等）は、ペイドとケイド。これらもダチョウの星座に由来するもので、アラビア語でペイドは“卵”，ケイドは“卵の殻”。文字通り、巣の中にある卵と巣から投げ出された卵の殻を示しています。

4.8等の目立たない星τ2は、アラビア語で“川の曲がり角”という意味のアルゲテナル。『アルフォンソ星表』でつけられた名前です。

そして、υ1（4.5等）、υ2（3.8等）、υ3（4.0等）、υ4（3.6等）はテーミンまたはペーミン。二つの星が仲良く並んでいるところから、テーミンは“双子たち”という意味のアラビア語が語原。ペーミンは、ヘブライ語の“水の中”，アラビア語の“ダチョウ”，あるいはテーミンの変形とする説明もあり、確かな語原はわかっていないようです。



11月の県民天文台 ~運営日誌より~

開台率 9日/14日=64.3% 一般来台者数 79名 会員来台 46名

日付	天気	来客数	担当運営	記事
2日 (土)	雨			NPO 法人化についての打ち合わせ。ワイン2本いただきました。(中島) 艶島、小林M、中島、富永、徳尾、松本、平井、御園生
4日 (月)	くもり	ナシ	Tsu	祭日で、ところどころ雲の切れ間があるので来てみたが、寒いせいか来台者ナシ(Tsu)
9日 (土)	はれ	3名(一般) +48名 (星空探訪)	中島、中尾の、 徳尾	月、土星、アルビレオ、M57、M42など 「星空探訪」(県の事業) 48名の参加。 PM6:30~9:00 1. 星空解説 2. 月の観望 3. 電子紙芝居 4. アルビレオ観望 5. 電子紙芝居 6. 土星 とても天気がよく、たくさんの天体を実際に見られてよかったです。流れとしても確立してきたように思われる。電子紙芝居は今回も好評だった。(中島) 艶島、西嶋、中島、中尾の、徳尾、弓立、鹿釜、西川
10日 (日)	はれ			昼の部 中央公民館会議室にて AM10:30 より、 熊本県民天文台臨時総会および特定非営利活動法人 熊本県民天文台 設立総会。出席者 44名(委任者含む) 全てにおいて承認され終了。午後、設立認証申請書を提出。提出後、皆で食事会(参加者 11名)(松本)
		0名	Tsu、中島、 松本、松野	夜の部 来台者 0名
16日 (土)	はれ / くもり	なし	中島、中尾の	Talk About 艶島、中島、小林M、松本、弓立、中尾の、西川、御園生、鹿釜 12月 14日(土) 13:00~ 大掃除、Talk About、忘年会 1月 3日(金)

				新年会（山本屋） 年末：12月29日（日）まで運営。 年始：1月10日（金）から運営。
17日 (日)	快晴	7名(家族2組) +3名	艶島、小林M、松本、高田	月、ベガ、アルビレオ、土星、M42(高田) しし座流星群(AM0:00~AM6:00)(松本)
22日 (金)	晴	2人 (超ラブラブカップル)	小林J、西嶋、松本	リゲル、ベテルギウス、M42、土星、月 「すごい」「すごい」の連発でした。 なかなか楽しいカップルでした。 ワイン一本ケンスケがあける。カマンチーズを知る。(西嶋) ウソで～す！J 氏が健康記念日と称して ノンダノダー！！ボクはタンなる「パシリ」でツマミ買いに走ったダケで～す。 (from K) J氏より、PC 移動用バッグと電気マット 寄付すること。バッグはほしい人、マ ットは 40cm くらい使用する場合有効か と…。(from K)
23日 (土)	くもり	16名	徳尾、鹿釜、中尾の、中島	M57、ベガ、アルタイル、アルビレオ、 土星、月、M27、月、アンドロメダ、ブ レアデス、アンドロメダ 子どもフェスティバル&みどり反省会。 (中島)
24日 (日)	晴	なし	小林ま	晴れでいるのに誰も来なかったという日。 (小林ま)
27日 (水)	はれ	0名	松野	今年も今日を含めてあと 2~3 回ぐらい しか来れないようだ。 22:00~23:30 M42、シリウス、M41、M44、M31 どれもきれいでした(松野)
29日 (金)	はれ	0名	西嶋、山田♀ 立川	熊本市内は若干うすぐも。残念ながら来台 者はなし。お姉様 2 人は大型プロジェク ターで DVD 「ハリーポッター」を観てい らっしゃいました。寝ながら、食べながら、 飲みながら。星よりも映画がお好きなよう です。(立川)

B5のたわごと

上から読んでも下から読んでも2002年、如何だったでしょうか。土星食に始まり五惑星集合。現地に行かないと絶対見られない日食など、盛り沢山でした。日頃から不精者の私にとっては、五惑星集合という現象は、何時何分何処で、と限定されないので非常に大助かり、無事写真にも収められました。来年は水星の日面通過や火星大接近。昼間の金星食と、目白押しですね。さあ、いくつ見られますでしょうか。

☆H14年度分の会費納入をお願いします。正会員8000円 友の会会員5000円☆

☆1月の天文現象＆行事☆

- 1日（水） 元旦 初日の出（熊本出現07：23ごろ）
- 3日（金） 新月（05：23）
- 4日（土） りゅう座流星群が極大
- 5日（日） 土星とM1（かに星雲）が最接近
- 6日（月） 小寒（しょうかん…寒冷一段と厳しくなる。俗に「寒の入り」）
- 10日（金） エウロパの影にイオが入る（22:04 本影部分食 繼続時間19分 減光量40%）
上弦（22：15）
- 11日（土） 金星が西方最大離隔（46°57.7' -4.4等 視直径24.8"）
トークアバウト（天文台にて 20：00～）
- 13日（月） エウロパの影にガニメデが入る（20:39 本影部分食 繼続時間22.7分 減光量22%）
エウロパがガニメデをかくす（22:51 部分食 繼続時間16.8分 減光量17%）
- 17日（金） カリストがイオをかくす（19:20 部分食 繼続時間7.2分 減光量28%）
- 18日（土） 満月（19：48）
カリストがイオをかくす（21:36 部分食 繼続時間10.6分 減光量68%）
- 19日（日） ガリルの影にガニメデが入る（01:58 本影部分食 繼続時間58.2分 減光量52%）
- 20日（月） しし座流星の星食（23：32.7）
大寒（だいかん…寒さは極限。寒の入り（小寒）から数えて16日目頃）
- 25日（土） 下弦（17：33）

熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2002年1月号 通巻334号
発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226
熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台
TEL 0964-28-6060
振替口座 01980-0-24463
熊本県民天文台事務局 担当 中尾 富作
ホームページ <http://astro.magma.ad.jp/>